

ワンヘルス(One Health)を推進しています

企画振興課 企画係 (Tel.64-1504)



ワンヘルス(One Health=ひとつの健康)とは、人と動物の健康と、環境の健全性は1つのものと捉えて、みんなで守っていこうという考え方のことです。

みやま市では、令和3年9月に市議会で「ワンヘルスの推進に関する決議」が可決され、全国で初めて「ワンヘルス推進宣言」を表明し、ワンヘルスを推進しています。

みやま市の取り組み

環境保護(地球温暖化対策・資源循環のまちづくり)

バイオマスセンター「ルフラン」では、分別した生ごみなどを廃棄物として焼却処理するのではなく、メタン発酵させて、電気と有機質の肥料を作り出し資源として循環利用しています。

生ごみの分解時に発生するメタンガスは施設内の電力として活用し、発酵後の消化液は液肥として、市内の田畑に散布され、栽培された作物が食卓に並ぶという資源循環のまちづくりに取り組んでいます。



▲生ごみを分別し肥料にして利用

人と動物の共生社会づくり(地域猫活動の推進)

公益財団法人どうぶつ基金による、猫の無料不妊手術事業の会場として、本市の清掃センター内の事務所を無償で貸与するなどの支援をしています。

市内の動物愛護ボランティアグループが野良猫を捕獲し、獣医師が不妊手術とワクチンなどの処置を行い、その目印として耳をV字にカットして捕獲した場所に戻します。不幸な子猫を減らし、人と猫が互いに生活しやすい環境づくりにつながります。



▲どうぶつ基金病院みやまの開院式

ワンヘルス実践の基盤整備(ワンヘルス教育の推進)

市内の小学校では、講師を招き、身近にある自分たちにできるワンヘルスについて考えるための学習に取り組んでいます。

昨年、市内の中学校では、校庭でヤギの飼育を行いました。生徒はヤギの生態や、天気・湿度などに応じた体調管理について学び、命の大切さを考える機会になりました。ヤギは、学校の草を食べてくれるだけでなく、生徒とのふれあいにより、学校全体を元気にしてくれました。



▲瀬高中学校に来たヤギとふれあう生徒

福岡県“One Health”国際フォーラム2022+FAVA

参加無料

- ▶日時 ①11月12日(土)午後1時30分～4時30分 ②11月13日(日)午前9時～11時50分
- ▶場所 ヒルトン福岡シーホーク(福岡市中央区) ※ウェブでのライブ配信もあります。
- ▶内容 ①世界トップクラスの専門家による講演、坂上忍さん(俳優)をゲストに迎えた県民講座 ②分科会
- ▶事前に参加登録ができます。詳しくはQRコードを読み取りください



みやま市が13日(日)の分科会で市の取り組みを報告します



「働く」って何だろう



9月13日、14日に、高田中学校の2年生が職場体験を行いました。職場体験は消防署や図書館、市役所などで行われました。消防署で心臓マッサージの体験をした生徒は、「想像の3倍きつかった」と、働く上での大変さを学びました。(このわだいは、市役所秘書広報課で職場体験をした4人が写真を撮影し、文章を作成しました)

消防団の防災活動が評価



9月20日、市消防団の三小田智裕団長が、市消防団の防災功労者内閣総理大臣表彰受賞を報告しました。昨年8月の大雨の際の避難誘導や救出活動などが評価されたもので、三小田団長は「今後も訓練を重ね、地域の安全・安心を守っていきます」と話しました。

花火の産地ならではの祭り



第13回みやまおもちゃ花火フェスタが9月3日、まいピア高田北側駐車場で3年ぶりに開催されました。「線香花火長持たせぐっちょ大会」や長さ約30メートルの仕掛け花火「ミニナイアガラの滝と和太鼓の競演」などが催され、会場にはたくさんの親子連れなどが訪れました。

次世代へ、文化を継承



8月28日、第4回みやま市芸能文化フェスティバルがまいピア高田で開催されました。3年振りの開催となる本イベントは、将来を担う子どもたちへの芸能・文化の継承と、子どもたちの育成を目的としています。ステージでは、小・中学生が日本舞踊や太鼓を披露しました。

親子で大賑わい



8月28日、JAみなみ筑後山川選果場前で「山んこ川んこ夏祭り」が3年振りに開催されました。子どもたちによるキッズダンスやフリフリコンテストなどが催され、会場は大いに盛り上がりました。JAみなみ筑後・商工会青年部の皆さんによる露店も出店されました。